

J A C S

NEWSLETTER

日本消費者行動研究学会ニューズレター

第8巻第1号

発行日 2000年6月2日

発行 日本消費者行動研究学会事務局

第20回消費者行動研究コンファレンス

春の消費者行動研究コンファレンスの開催日程とその概要が下記の通りに決定いたしましたのでご案内申し上げます。

第1日目に、研究報告と特別講演、懇親会、第2日目に会長記念講演と統一論題でのシンポジウムを予定しております。

開催日程決まる！

6月29日・30日に沖縄で

統一テーマ：消費者行動研究—その多様性を問う

- 日時： 2000年6月29日・30日(木・金)
- 会場： 琉球大学学生会館
- 日程：
- | | | |
|-----|---------------|--------|
| 29日 | 10:15 - 10:25 | 受付 |
| | 10:25 - 10:30 | 開会の辞 |
| | 10:30 - 16:15 | 研究報告 |
| | 16:30 - 17:30 | 特別講演 |
| | 17:30 - 19:30 | 懇親会 |
| 30日 | 9:30 - 11:45 | 研究報告 |
| | 13:00 - 14:00 | 会長講演 |
| | 14:15 - 15:00 | 研究報告 |
| | 15:15 - 16:45 | シンポジウム |
| | 16:45 - 16:50 | 閉会の辞 |
- 費用： 参加費 3,500円(会員外は5,000円) 懇親会費 6,500円
- 申込み： 会員の方は別途お送りする返信用葉書でお申し込みください。
(会員以外で参加をご希望の方は、最終頁の申込書に氏名・連絡先等を明記の上、事務局宛に郵便またはFAXにてご連絡ください。)

日本消費者行動研究学会学会役員名簿(2000年度)

昨年 11 月 27・28 日の両日、東京池袋の立教大学太刀川記念館において開催された第 7 回会員総会で以下の方々が次期役員として決まりましたのでご報告申し上げます。

会長 和田 充夫 (慶応義塾大学)	理事 恩蔵 直人 (早稲田大学)
副会長 上田 隆穂 (学習院大学)	〃 清水 聡 (明治学院大学)
〃 青木 幸弘 (学習院大学)	〃 守口 剛 (立教大学)
理事 江原 淳 (専修大学)	監事 桑原 武夫 (慶応義塾大学)
〃 土田 昭司 (関西大学)	事務局担当理事 青木幸弘 (兼任)

* 幹事は現在交渉中です。

第 19 回コンファレンス開催される！

統一テーマ 「新しい消費者行動の方向を探る」

去る 1999 年 11 月 27 日・28 日の両日、東京都豊島区の立教大学において、第 19 回消費者行動研究コンファレンスが開催されました。

今回は、統一テーマを「新しい消費者行動の方向を探る」とし、明治学院大学の清水聡教授をコーディネータに、以下7つの研究報告に基づき活発な意見交換が行われました。

守口 剛 (立教大学)	『消費者行動研究とPOSデータ』
佐々木 壮太郎 (和歌山大)	『市場の相互作用の場と文脈』
永家 一孝 (日経産業消費者研究所)	『消費構造の変化に対応した消費者心理:CFIによる分析結果から』
山本 昭二 (関西学院大学)	『適応的意思決定の理論』
井上 孝 (東急エージェンシー)	『CVSを対象としたプレミアム・キャンペーンの検証効果のあり方』
吉原 美保子 (JR 東日本企画)	『10000 人調査による購買移動行動分析』
宮島 鉄男 (エーシー・ニールセン・カスタイズ)	『消費者理解のための定性調査』

この他、2 日目には、清水聡教授の司会で、宮島鉄男(エーシー・ニールセン・カスタイズ)、江原淳(専修大学)、青木幸弘(学習院大学)の 4 氏によるシンポジウムが開催されました。

1998 年度決算報告および 1999 年度予算案について

昨年 11 月 27 日に開催されました役員会での審議を経て、同日開催の会員総会において 1998 年度の決算報告および 1999 年度の予算案が下記の通り承認・決定されましたのでご報告申し上げます。

ここ数年来、会員数が一定して増加していることは喜ばしい限りですが、大学院生の方々へは会費減免措置をとっており、また、一方では、印刷コストや発送コストが増加するなどして、学会の財政はかなり逼迫しております。

今後とも、事務局でもコスト削減につとめますが、会員の皆様におかれましても、会費納入などの面でご協力を賜りますようお願い申し上げます。

日本消費者行動研究学会 1998年度決算

日本消費者行動研究学会 1999年度予算案

[収入の部]

会費収入	2,337,000 円
学会員	@ 5,000*245=1,225,000
" (院生等)	@ 2,000* 81= 162,000
法人賛助会員	@50,000* 19= 950,000
前年度繰越金 (論文集、名簿作成費、等)	765,637
利息収入	471
雑収入	116,000
	<hr/>
	3,219,108 円

[収入の部]

会費収入*	2,664,000 円
学会員	@ 5,000*233=1,165,000
" (院生等)	@ 2,000* 97= 194,000
個人賛助会員	@ 5,000* 11= 55,000
法人賛助会員	@50,000* 25=1,250,000
前年度繰越金	1,809,537
	<hr/>
	4,473,537 円

[支出の部]

コンファレンス開催補助費	100,000 円
(@50,000*2=100,000)	
印刷費 1)	1,205,171
(論文集、コズルカ、封筒、等)	
事務費 (通信費、消耗品)	104,399
次年度繰越金	1,809,537
(論文集、名簿作成費)	
	<hr/>
	3,219,108 円

1) 一部送料を含む金額である。

上記の通り報告致します。

事務局担当理事 青木 幸弘 印

上記の報告を適正なものとして認めます。

監 事 井上 哲浩 印

[支出の部]

コンファレンス開催補助費	100,000 円
(@50,000*2=100,000)	
論文集作成費 1)	3,200,000
(97年度分: @800,000*1= 800,000)	
(98年度分: @600,000*2=1,200,000)	
(99年度分: @600,000*2=1,200,000)	
ニューズレター作成費 1)	200,000
(@50,000*4=200,000)	
名簿作成費 1)	300,000
事務費 (消耗品)	200,000
通信費	200,000
雑費・予備費	273,537
	<hr/>
	4,473,537 円

* 1999年11月27日現在の種別会員数に基づいて算出。

1) 一部に送料を含む金額である。

本学会への入会を希望される方は、本頁下部の該当項目に☑をし、FAX ないしは郵便にて事務局宛にご返信頂くか、ご希望の項目を明記の上 e-mailにてご連絡ください。折り返し、会員募集案内(設立趣意書、学会会則、会員リスト、入会申込書、等)をお送りさせていただきます。

- [学術会員]** 消費者行動の研究・教育に従事する大学の専任教員、大学院在籍者(在籍経験者を含む)、およびそれに準ずる者(文部省が学術研究団体と認める学会の正会員、大学の非常勤講師としての教暦を有する者、等)。但し、学術会員 2 名の推薦が必要。
- [賛助会員]** 本学会の趣旨に賛同する法人および個人。

- [学術会員]** 5,000 円(但し、大学院生の場合は、2,000 円に減免)
- [賛助会員]** 個人会員 1 口 5,000 円 法人会員 1 口 50,000 円

会員募集案内(入会申込書)の送付を希望します。
第 20 回コンファレンスへの参加を希望します。(懇親会: 参加 不参加)

お名前:

ご所属機関:

ご住所:

TEL:

FAX:

e-mail:

第 20 回コンファレンスに際し、日本消費者行動研究学会事務局が学習院大学経済学部より下記に移管されましたのでご案内申し上げます。これまでご研究やご校務でご多忙の中、学会設立当初より事務局の運営にご尽力くださいました青木幸弘先生に心より感謝の意を表します。

- (新事務局) 〒662-8501 西宮市上ヶ原1-1-155
関西学院大学商学部 マーケティング研究室(山本昭二)
TEL: 0798-54-6375 FAX: 0798-51-0903
Email: z89012@kgupyr.kwansei.ac.jp
- (事務取扱) 〒150-0012 東京都渋谷区広尾 1-1-39
恵比寿プライムスクエアタワー10F (SPSS 内) 担当: 村田
TEL: 03-5466-5520 FAX: 03-5466-5528
Email: jacs@jacs.gr.jp

* ご入会希望やコンファレンスへの参加お申込み、また問合せ等は上記、新事務局までお願い申し上げます。